

報道発表

令和4年8月18日
名古屋税関
中部空港税関支署



令和4年7月分 中部空港 貿易概況（速報）の要旨

令和4年7月分について、輸出は「プラスチック」、「電気計測機器」などが減少したものの、「半導体等電子部品」、「重電機器」、「その他の化学製品」などが増加したことから対前年同月比10.0%の増加となった。また、輸入は「有機化合物」、「通信機」などが減少したものの、「原動機」、「医薬品」、「半導体等電子部品」などが増加したことから、同27.0%の増加となった。

その結果、差引額は360億円の輸出超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	1,170億円	+10.0%	810億円	+27.0%	360億円	▲15.3%
	20カ月連続の増加		15カ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率	
輸出	増加品目	(1) 半導体等電子部品	232億円	+31.9%	輸入	増加品目	(1) 原動機	141億円	+56.1%	
		(2) 重電機器	37億円	+109.8%			(2) 医薬品	61億円	+462.2%	
		(3) その他の化学製品	32億円	+68.2%			(3) 半導体等電子部品	108億円	+52.3%	
	減少品目	(1) プラスチック	20億円	▲26.1%		減少品目	(1) 有機化合物	4億円	▲90.0%	
		(2) 電気計測機器	77億円	▲7.7%			(2) 通信機	16億円	▲23.3%	
		(3) 自動車用等の電気機器	5億円	▲57.3%			(3) 自動車の部分品	16億円	▲15.9%	
	主要地域 増減	アジア、EUが増加、アメリカは減少				主要地域 増減	EU、アメリカ、アジアが増加			

（参考）ドルレート・・・136.05円（前年 110.55円）23.1%の円安ドル高

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。